

## 都小社研6年部会 今年度の研究について

6年部会世話人  
板橋区立下赤塚小学校 桑島孝博

### 6年部会の目指す児童像

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解を基に、社会的事象の意味や特色について多角的に考え、我が国の未来を考えようとする子供の育成

#### 1. 6年部会の目指す児童像

「我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解」とは、用語や語句を覚えることだけでなく、「複数の立場や意見を踏まえて、政治の働きや歴史の展開、国際社会における我が国の役割などを多角的に考える」という活動を通して、我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、国際社会における我が国の役割について理解するということである。

学習指導要領解説では、社会的事象の見方・考え方を「(前略) 社会にみられる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする際の『視点や方法(考え方)』であり、(後略)」とある。また、社会的態度は「現在及び過去の社会の仕組みのよさ、課題への理解に基づくものであり、学習活動を通して複数の立場や意見を踏まえて考え理解したことを基に涵養される」とある。つまり、「確かな理解」は、よりよい社会を考える際の基となり、子供たちの社会的態度の育成につながるものである。

これらを踏まえ、「社会的事象の意味や特色について多角的に考え、我が国の未来を考えようとする」とは、「確かな理解を基にし、社会的事象の見方・考え方を働かせてその意味や特色について多角的に考えることで、新たな問いを見出し、社会の発展や関わりを考えようとする姿」と6年部会では捉えた。

#### 2. 研究の仮説

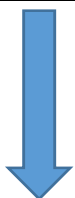
我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解につながる問いや、学習したことを基によりよい社会をつくらうとするための問いをもてるように教材や学習活動を工夫すれば、多角的に考え、我が国の未来を担う国民としての自覚をもとうとする子供が育つであろう。

#### 3. 研究主題を実現するための本実践の主な手立て

##### (1) 主体的に追究する問いの工夫

○問いの連続性や構造化⇒「単元内における問いの連続性や単元相互における問いの関連性」

学習問題「戦後の日本はどのようにして復興したのだろうか」



問い 戦後の日本は、どのような国を目指したのだろうか。また、国民生活はどのように変わったのだろうか。(日本国憲法の制定)

問い 日本はどのように国際社会に復帰したのだろうか。(オリンピック・パラリンピックの開催)

問い 戦後の日本はどのように産業を発展させたのだろうか。また、国民生活はどのように変わったのだろうか。(工業の発展、電化製品の普及)

学習したことを関連付けたり、総合したりして学習問題に対する考えをまとめる。



問い 現在の日本には、どのような課題があるのだろうか。

(領土の問題、産業の発展による問題、投票率の問題等)

これからの日本はどのようなことを大切にしていけばいいのだろうか。

※戦後の日本が民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な働きをしていることを理解するだけでなく、現在の日本に残された課題を取り上げることで、これからの日本がどのようなことを大切にしていけばいいかを考えられるような展開にしている。

### ○問いが生まれる社会的事象との出会いの工夫

終戦直後と1964年頃の八王子駅周辺や国立競技場の写真を比較することで、約20年の急速な街の発展の様子に関心をもてるようにする。また、児童にとって身近な八王子駅周辺の変化の様子を取り上げることで、当時の発展と自分たちの生活との繋がりを捉えられるようにした。



1945年ごろの八王子駅前

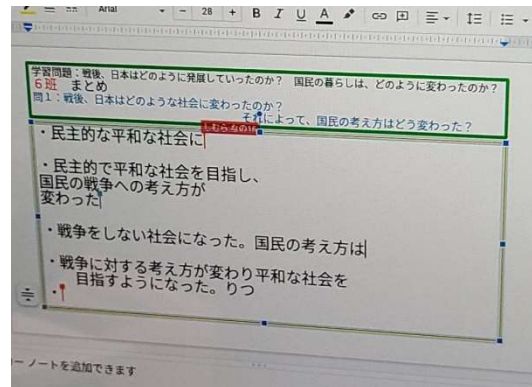


1964年の八王子駅北口前

## (2) 社会的事象の見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

### ○タブレットを活用した対話の工夫

グーグルスライドの共同編集機能を活用した話し合い活動を行った。グループごとに話し合いながらスライドを同時編集することで、他のグループの進捗状況を見て考えを広げたり、自分たちのグループの修正点を話し合ったりできるようにした。「話し合い」→「書き込み」→「違うグループの書き込み確認」→「話し合い」→「修正」といった活動を繰り返し行う。



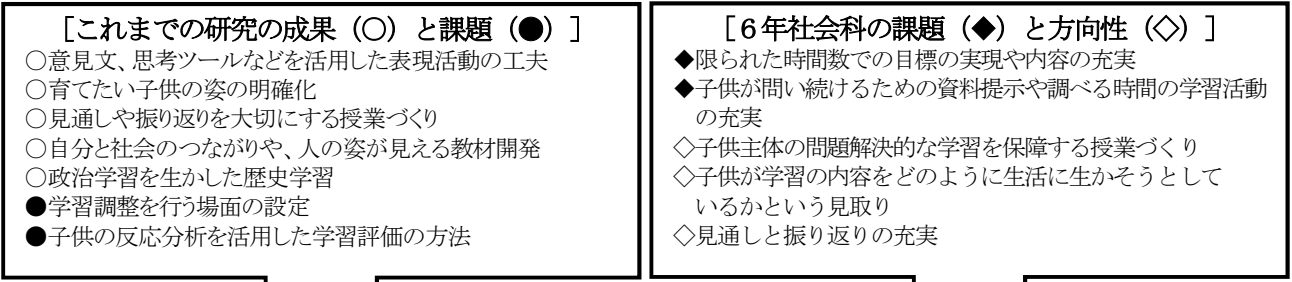
## (3) 子供の学びを確かにする評価の工夫

### ○学習の見通しと振り返りの工夫

- ・ノートやワークシートの書かせ方、見取る場面の設定

学習内容を振り返るために、調べる過程では毎時間、学習内容をスライドにまとめる。児童は、学習問題に対する考えをまとめる場面では、そのスライドを振り返りながら自分の考えをまとめる。教師はスライドに書き込まれた内容を基に、価値付けたり、個別に声をかけたりすることで指導に生かす。

**研究構想図**



**社会とつながり未来を創る子供の育成**  
 ～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して～

**目指す子供像**

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解を基に、社会的事象の意味や特色について多角的に考え、我が国の未来を考えようとする子供の育成

**研究の仮説**

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の確かな理解につながる問いや、学習したことを基によりよい社会をつくろうとする問いをもてるように教材や学習活動を工夫すれば、多角的に考え、我が国の未来を担う国民としての自覚をもとうとする子供が育つであろう。

**研究の内容**

主体的に追究する問いの工夫	見方・考え方を働かせる学習活動の工夫	子供の学びを確かにする評価の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供が問いをもち追究意欲を高める工夫</li> <li>・つかむ段階の資料の工夫</li> <li>○問いの分類と連続性や構造化</li> <li>・単元内、単元相互における問いの関連性の工夫</li> <li>・議論を通して考えを深める問いの設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比較・分類・統合したり総合したりして、国民(地域)の生活と関連付けて考える学習活動の工夫</li> <li>○対話を通して多角的に考える学習活動の工夫</li> <li>・社会における対立や矛盾、葛藤を感じる場の設定</li> <li>・多様な価値について立場を決めて話し合う場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の見通しと振り返り(集団的学習調整)の工夫</li> <li>・ノートやワークシートの書かせ方、見取る場面の設定</li> <li>・既習を生かして新しい問いを見出す場面の設定</li> </ul>
<b>教材開発や教材分析の視点</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間的・空間的・相互関係的な視点から視野を広げる教材開発</li> <li>・現在の社会につながる歴史的人物の働き   ・安定した社会づくりに関わる仕組み</li> <li>○社会の課題を把握し、発展や関わり方を考えることにつながるような教材の工夫</li> <li>・多様な価値が見出せる教材</li> </ul>		

